

製品名: GATA-2/3 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab11311

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	GATA2/GATA3
別名	GATA3; Trans-acting T-cell-specific transcription factor GATA-3; GATA-binding factor 3; GATA2; Endothelial transcription factor GATA-2; GATA-binding protein 2
遺伝子 ID	2625.0
SwissProt ID	P23771/P23769
免疫原	抗血清はヒト GATA3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 274-323

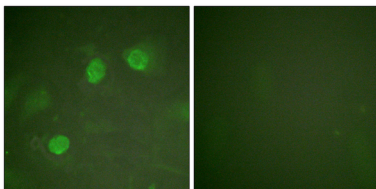
背景

この遺伝子は、転写因子 GATA ファミリーに属するタンパク質をコードしています。このタンパク質は 2つの GATA 型ジンクフィン

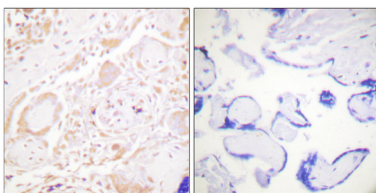
ガーを含み、T細胞分化の重要な調節因子であり、内皮細胞生物学において重要な役割を果たしています。この遺伝子の欠陥は、感音性難聴および腎異形成を伴う副甲状腺機能低下症（HDR）の原因となります。[RefSeq 提供、2009年11月]、疾患：GATA3の欠陥は、感音性難聴および腎異形成を伴う副甲状腺機能低下症（HDR）[MIM:146255]の原因です。パラカット症候群としても知られています。機能：T細胞受容体αおよびδ遺伝子のエンハンサーに結合する転写活性化因子。コンセンサス配列 5'-AGATAG-3'に結合します。類似性：2つのGATA型ジンクフィンガーを含みます。組織特異性：T細胞および内皮細胞。

研究分野

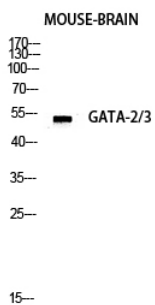
画像データ



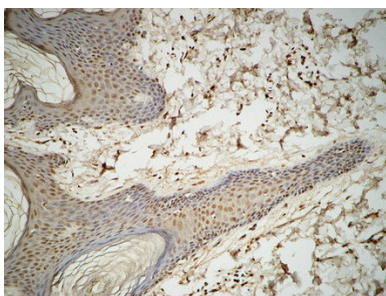
GATA3抗体を用いたHeLa細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



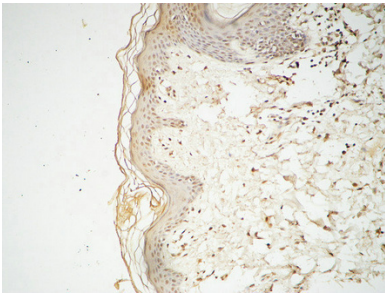
GATA3抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胎盤組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



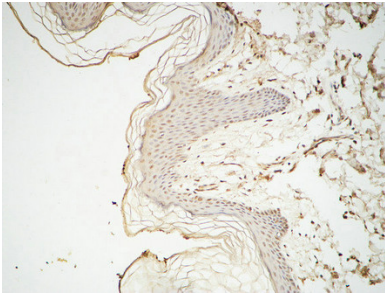
GATA-2/3抗体を用いたマウス肺溶解のウェスタンブロット解析。抗体は1:500に希釈した。



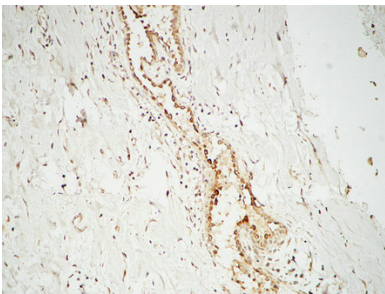
パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析。1、抗体を1:100に希釈（4°、一晚）。2、高压高温EDTA（pH8.0）を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を1:200に希釈（室温、30分）。



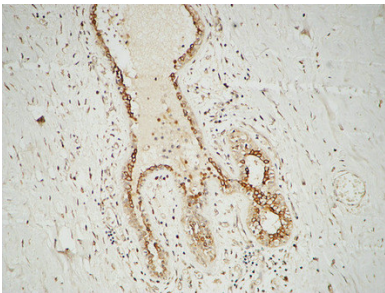
パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



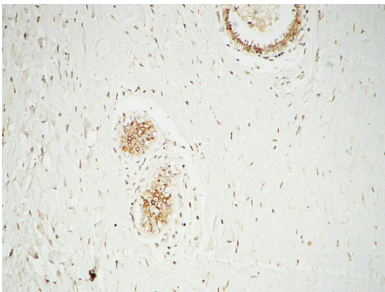
パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト乳房の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト乳房の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト乳房の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。